

## 議長・議員の主な活動状況

(令和5年3月定例会後

～令和5年6月定例会)

- 4月5日～26日 議会広報特別委員会 議会だより62号編集作業(全3回)
- 24日 議会運営委員会
- ①「過去の事例の検証に基づいて、議決のない議員派遣の正当性を問う請願」
- ②「松本議員の事実誤認発言、国民の権利を侵害するよう訴える発言の重大性を問う請願」
- ③「平成29年12月7日の請願評決において、当事者を除外しなかったことの正当性を問う請願」
- 5月9日～25日 議会広報特別委員会 議会だより62号編集作業(全4回)
- 18日 海部郡議定会総会に議長が出席  
令和4年度事業・会計報告、令和5年度事業計画
- 23日 令和5年度町村議会議長・副議長研修会に議長・副議長が参加(東京)
- 25日 美波町育英奨学生審査委員会に議長が出席
- 29日 防災高台対策特別委員会 ①視察研修について  
日和佐小学校6年生 議場見学  
議会運営委員長が対応
- 30日 上勝町議会議員3名視察(来町)美波町タブレット端末の会議運用状況等について議長が対応
- 31日 議会運営委員会 令和5年第2回定例会について協議  
全員協議会  
①令和5年度伊座利漁港A4防波堤修繕工事について  
②令和5・6年度高台整備工事(公園造成他)について  
③令和5年度日和佐第1分団の消防自動車購入について  
④令和5年度うみがめ博物館カレッジの魅力の展示解説整備工事について  
⑤令和5年度生活基盤近代化事業美波町(伊座利)水道施設更新工事について

一般質問  
4議員が  
町政をチエック

中川議員	北山議員	鈴木議員	小部議員
①健康保険証廃止で医療サービスは ②由岐地区の高台政策は進んでいるか ③新県政とのかかわりは	①シルバーカー購入等助成を ②町費教員を早く計画人数へ ③ヘルメットの購入助成を	①学校給食の対応は	①道の駅日和佐の運営計画は
p13	p12	p11	p11

掲載順は登壇順でない場合があります。

# 一般質問

## ①道の駅日和佐の運営計画は

答弁 慎重かつ早急に進めていく



こ べ 小部 ひるまさ博正議員



▶録画配信中

要になる。特に閉鎖中の足湯棟は景観上、産直館と物産館を、さらに分断させている。今後の具体的な運営方針や計画はあるのか。

それと、道の駅日和佐は現在も、運営を担う責任者不在という状態での業務が続いている。日常的な業務なら支障はないかもしれないが、非常時など、緊急の判断やその対応を迫られる事態になった場合に、誰がどう対応していくのか。

●答弁 岸本産業振興課長 足湯棟などの活用は、道の駅の経営状態なども含め「道の駅リノベーション検討会」で検討している。産直館の拡大、カフェの開設などを目指し早急に検討していく。

2番目については、リー

産物や無添加の調味料などの部分的な導入、先進地に

## 質問

国の支援を活用し有機農

力していく。食物アレルギーへの対応は事前に保護者

今後、関係者との相互理解、情報共有を図り、細心の注意し生徒児童の安心安全に努めていきたい。

## ①学校給食の対応は

答弁 安全安心な給食に尽力する



す ぎ たけひろ 鈴木 健宏議員



▶録画配信中



ならったシステムの構築や、アレルギーなどを持った児童へ現在おこなっている取組や代替食など美波町としての考え方や今後の対応は。

から申告を受け対応を確認。症状や食材は個人により違うため給食献立表を保護者に提供し、影響がある食材を使用の際は個人で除去、またはお弁当を持参してもらっている。

●答弁 村田教育次長 有機農産物は仕入れや価格の課題があるが、納入可能な食材等の使用について、関係者と連携を密に検討し安全安心な給食の提供に尽力していく。食物アレルギー

への対応は事前に保護者

# 一 般 質 問

## ① シルバーカー購入等助成を

答弁 何が可能か検討したい



あさひこ 朝彦 議員  
きたやま 北山



録画配信中

### 質 問

地域おこし協力隊（氏家里菜氏）による由岐湾内3地区避難行動要支援者への避難対策報告で、支援方法や避難速度等が問題提起された。

現在、長時間の歩行が困難でシルバーカーを利用している方など要支援者の形態が変り、災害発生時、まずは避難場所まで自力で避難してもらうことを前提に考えることが現実的だと思

## ② 町費教員を早く計画人数へ

答弁 配置したいと探している

### 質 問

う。ちなみに、お墓参りに行けなかった方が、アシスト付のシルバーカーを使えば行けた事例がある。介護保険制度を利用できない方などへシルバーカーの購入補助やレンタル補助を考えられないか。

●答弁 前野消防防災課長

基本は、自力避難が原則だ。シルバーカーの電動は、確認できていないので、どのようなことが可能か検討したい。

### 質 問

文科科学省が教員勤務実態調査結果を公表した。学校現場からは、給与の増額よりも長時間労働への負担軽減を求める切実な声が上がったとある。町内の教員の勤務実態と対策は。

●答弁 寺内教育長

毎月学校から報告を受けて県へ報告している。教員の時間外在校等時間（月間45時間、年間360時間以内の業務量管理が求められる）が、表①である。教育

委員会は、学校への迅速な対応や助教員、事務補助員等の配置に努めたい。

## ③ ヘルメットの購入助成を

答弁 他市町村の状況により検討

### 質 問

令和5年度一般会計上の町費教員数は、日和佐小学校2人、由岐小学校2人、伊座利小学校2人、由岐中学校2人、伊座利分校2人、日和佐中学校3人である。しかし、機構図（4月1日付）では、町費の教員数は日和佐小学校0人、由岐小学校1人、伊座利小学校2人、由岐中学校2人、伊座利分校2人、日和佐中学校3人と計画より3人少ないその理由と早急な配置を。

4月から、自転車に乗る時のヘルメット着用が努力義務化されたが、町内で高校生や高齢者のヘルメット着用率が低い。

そこで、事故時の被害軽減と着用率向上に、高校生と65歳以上の高齢者を対象に自転車用ヘルメットの購入助成を考えられないか。

●答弁 前野消防防災課長

県内市町村では、現時点で、ヘルメットの購入補助は無い。本町には、通学児童・生徒のヘルメット購入費補助制度（1000円／1人）が在るが、拡充する予定は無い。他市町村の状況を踏まえ検討したい。

表①

学校名	時間外 在校時間
伊座利小学校	17,1 時間
由岐小学校	39,1 時間
日和佐小学校	35,1 時間
伊座利分校	14,6 時間
由岐中学校	42,3 時間
日和佐中学校	45,3 時間

# 一般質問

## 1 健康保険証廃止で医療サービスは

答弁 町民に不利益、不便等を与えない



なかがわ なおき 中川 尚毅 議員



録画配信中

### 質問

健康保険証の廃止で、再発行の手続きやサービスは良くなるのか。

●答弁 秋山 秋山税務課長

令和6年秋から健康保険証の発行を止め、マイナカードと一本化する。持っている健康保険証は有効期限まで使用できる。マイナカードへ保険証登録をしない人は、資格確認証を申請していただく。

●答弁 實木 實木住民生活課長

マイナカードは、身分証明書として利用でき、確定申告、「転出届」などの申請、医療費通知情報などの確認、国民年金保険料の免除、猶予、加入手続きなどがオンラインでできる。

紛失した場合は、警察等に紛失届を出して、再発行の手続きをする。この手数料は1000円。

●答弁 磯野 磯野副町長

マイナカードを持たない方の病院負担は、今後、国会等で方向が決まる。高齢者施設も管理が難しいよう、情報収集に務めて、適切に運営行政サービスに務める。

●答弁 影治 影治町長

マイナカードに保険証が紐づけられる大きな改革だ

が、取り扱いはそれほど変わらない。マイナカードが資格確認証によって診察できる。1病院、2診療所を

## 2 由岐地区の高台政策は進んでいるか

答弁 検討する

### 質問

日和佐地区では防災公園を作っているが、由岐地区では高台、先行移転宅地、避難拠点、とくに地域分散型小規模避難拠点も進んでいるのか。

合併前の由岐町にあった、役場と住民の間の意見の交換ができる地域担当職員制度はできないか。

●答弁 前野 前野消防防災課長

昨年3月に「美波町国土強靱化地域計画」を改訂し、計画に明記することで、国土強靱化関係予算の補助対象となるメリットがある。先行移転宅地は由岐湾内で自主防災会が検討を進

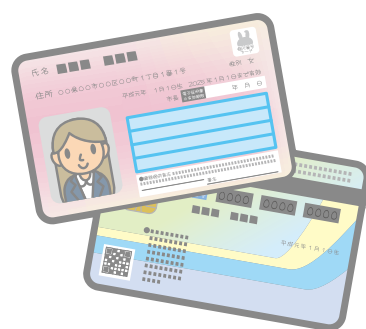
経営しているが、住民に不利益、不便等を与えないようやっていきたい。

●答弁 濱 濱総務課長

地域担当職員は、旧由岐町時代に、地域の活性化、住民生活の安定と向上、町の持続的発展を目的として取り組まれた。地域づくり団体や自主防災組織が、現在も活発な活動をしている。

●答弁 影治 影治町長

多くの避難路ができた。12分以内に逃げることで、きない避難困難地域が日和佐浦で、3基の津波避難タワーが完成。要避難支援の



## その他の質問

### 3 新県政とのかかわりは

方々をどうするかソフトの問題が残っている。由岐地区は避難する施設がないので、阿南市福井町、那賀町とも連携協定をまいている。自主防災会の意見も聴き、予算の協議もしながら、年度計画で進めている。

答弁 県とは協調して町政に取り組む